

活動報告

団体名	公益社団法人 福岡県鍼灸マッサージ師会
活動名	鍼灸マッサージ師の被災地住民および関係者のための心身ケア活動
活動期間	2016年4月～2017年10月
活動の成果	<p>今回の活動で発災後すぐから鍼灸師・マッサージ師の活躍の場があることが分かった、被災後、避難所から仮設住宅に移ってからも長期に渡り、はり・マッサージなどで被災者のケア、健康維持増進に寄与できた。また医療他業種との連携も初めて行うことが出来、包括的に被災者のケアを行うことが出来た。</p> <p>しかし、この活動も赤い羽根協同募金の助成金があったからこそ出来たのであり、その助成金がなくなればケアボランティアの活動も終了するという葛藤があることも事実である。正義感や使命感だけでは人は動かない。また地域支え合いセンター側からも、長期に渡れば被災者もケアを受けるのが当たり前になり自立が出来ないのでは？という指摘も受けた。</p> <p>自立を促す意味においてもケア活動を中止する時期も計画に入れながら今後の活動計画に盛り込みたいと感じた。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>鍼灸マッサージ師は発災後の急性期から仮設移住の慢性期までの長期に渡りケアを行うことができ、他業種との連携で包括的に被災者のケアにあたることが出来る事を確認した。</p> <p>また、鍼灸マッサージ施術は被災者の不定愁訴の緩和、健康維持に有効であり、生活不活発発病の予防にもつながることを認識した。</p> <p>今回ボラサポ助成金のおかげで長期にわたり被災者に寄りそうケアが可能となった。</p> <p>被災者の自立ということも考慮しながら活動計画を立てる必要がある。</p>

(活動のようす)



